

ナセルカバーの開発支援

支援先

日東電気株式会社

【開発の背景】

風力発電は、風力を使用したクリーンな発電方式として、注目されています。いばらき成長産業振興協議会の環境・新エネルギー研究会（事務局：茨城県商工労働部産業政策課）では、風力発電・小水力発電などの新エネルギーなどに関する新技術や事業化動向などを学び、風力発電システム関連の技術提案や、自社製品開発などによる業界参入の可能性を探っております。

大型浄化槽など繊維強化プラスチック製品製造を行っている日東電気株式会社は、上記研究会に参加し、新規分野の参入を目指していました。

【開発の経緯・支援内容】

支援先企業の日東電気株式会社は、株式会社日立製作所が神栖市沿岸で建設を進める洋上風力発電装置において、発電機などを風雨から守るカバー（ナセルカバー）を受注し、開発に取り組み始めました。

工業技術センターは、引張強度を測定する試験機（図1）を所有していることから、カバーの材料となるガラス繊維強化プラスチックや取付部品の強度試験を実施しました（図2）。日東電気株式会社ではその結果を踏まえ、製品製作を行いました。



図1 引張試験機



図2 取付部品の試験の様子

【開発した製品の紹介】

製作したナセルカバーの全パーツを組み立てると、全長 14.5 メートル、幅 6.2 メートル、高さ 5.7 メートルのサイズで、高さ 126 メートルの洋上風力発電システムに取り付けられた後、株式会社日立製作所による実証実験を行う予定です。



図3 開発したナセルカバー

基礎となった事業

平成 26 年度 試験研究指導費（依頼試験）

現在の担当部門

先端材料部門

部門長

齋藤 和哉

TEL:029-293-7492

技師

石川 裕理